

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ◎思考・判断・表現 ●学びに向かう力、人間性等 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(10)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の生活科では、桜新町商店街を作れて楽しかった。生活科の学習を通して、友達と協力して楽しむことができた。 ・これまでの取り組みが面白そう。自分もやってみたい。 ・大豆は、割ってみると、中はこんな風になっている。 ・味見してみたい。 ・大豆を土に植えたら、芽が出るのかな。どうやって育つか知りたい。大豆の花はどんな花だろう。育ててみたい。 ・大豆の育て方を調べてみよう。 ・土、日当たり、水が必要だ。栄養たっぷりの土にするには、どうしたらいいのかな。 ・大豆を使って食品や料理を作りたい。食べてみたい。 ・大豆を使った食品や料理にはどんなものがあるのかな。 ・大豆を使った食品や料理の作り方を調べてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの他学年の取り組みや、探究プロセスやカリキュラムマネジメントを通して教科横断的な学習を知ることで、総合の全体像を理解する。(1) ○将来の夢や子どもたち自身が今後どのような人になりたいのか考え、そのために必要な力を身に付けていく学習にしていこう方向性を決める。(1) ○総合の学年テーマ「食文化」を基に学級のテーマを決める。(1) ○大豆を観察し、どのように育つか予想して育て方を調べ、実際に育ててみる。(4) ○大豆を使った食品や料理について調べる。(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関心をつぶやきや発言から拾い上げ、児童の思いを大切にす。 ・材について、児童とともになぜ? どうして? という疑問をもちながら、児童の意見や考えを深める。 ・総合の魅力を伝えることで「自分もやりたい!」という意欲が高まるようにする。 ・大豆に関する本を学級文庫に入れ、すぐ手にとれるようにする。 ・調べたことをロイロノートでまとめ、互いに見合えるようにする。 ・振り返りをロイロノートに一括してまとめることで、これまでのあゆみをすぐに確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> [1:課題を見出し、把握している] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> ○大豆には様々な種類や歴史があり、日本の誇れる食文化の一つであることを理解している。 <②自己理解・自己管理能力> ◎調べたことを生かして大豆をよりよく育てるために、自分なりの考えや意見を表現している。
	「大豆料理を繰り返し作り、おいしいを追究する。大豆などを育て、課題を見つけ探究する。」(26)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた大豆料理を実際につけてみたい。 ・大豆の味を生かした料理にしたい。 ・どのように作ったら美味しくいのか。 ・他の班の大豆料理は、自分たちの班と味や見た目が違うな。 ・お家の人の作る大豆料理やお店の大豆料理とは味が違うな。 ・お家の人が作る大豆料理やお店の大豆料理には何か工夫があるのかな。レシピを知りたい。お店の人に聞けるかな。 ・食べ比べをしてみたい。 ・こんな工夫をして、もう一回作ってみたい。 ・毎日お世話をしていたら、大豆がどんどん成長してきたぞ。 ・もっと大きく成長させるにはどうしたらいいのかな。 ・実ができてきた。自分たちで育てた大豆を採集したら、どう調理しようかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大豆料理を作るにあたり、作り方や材料、必要な器具を調べる。(1) ○インターネットや書籍の情報だけでなく、町やお家の人に調査をして、情報を集める。(1) ○大豆料理に仕組み、さらにおいしく作るにはどうしたらよいかを考え、試行錯誤しながら繰り返し作り、探究する。(16) ○どんな人に食べてもらいたいかなど、相手意識をもち、大豆料理の内容を再考する。(4) ○みんなで役割を考え、協力して世話をす。日当たりや水やりの量など、起こった課題の解決について調べたり話し合ったりする。(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かせるように、学習の軌跡を残しておき、振り返りしやすいようにする。また、次の工夫に生かせるようにする。 ・意見が反映されやすいように小グループでの活動を促す。 ・安全管理を徹底して行い、必要な場面では T2 を入れる。どのような場面で危険が起こりそうかを児童とともに確認する。 ・大豆料理をよりよくおいしいものにするを目的に、失敗やうまくいかなかったことを積極的に取り上げる。失敗から、もっとこうしたいという児童の意欲を高め、失敗することを恐れずにチャレンジすることの大切さを伝える。 ・世話をした子、見てきた子の話を共有し、気にかけて続けられるようにする。 ・植物の成長の記録を、写真に撮っておく。 ・課題に気付けるよう声かけする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大豆料理や大豆の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる]<①人間関係形成・社会形成能力> ●自己の取組を振り返り、よりおいしい大豆料理を作ろうと探究活動にすすんで取り組んでいる。 ◎大豆料理や大豆の魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている]<①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力>
	「大豆の魅力を伝える。1年間の成果を味わう。」(16)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで育てた大豆でおいしい料理を作りたい。 ・作ってきた料理を食べてもらいたい。 ・レシピを教えてくれた、お家の人やお店のの人に、ふるまいたい。 ・自分たちが大豆について知ったことを、発表したい。 ・友達と一緒に頑張ってきたこれまでの過程や自分たちが作る大豆料理の工夫を伝えたい。 ・大豆料理を作ってみて楽しかった。姿が変わる食品で、他のものでもいろいろ料理をつくってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おいしく作るための工夫を生かし、大豆料理に取り組む。(2) ○関わってくれた方へのお返しの仕方を考え、計画し実行する。(10) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の記録をもとに、うまくいかなかったこと、失敗したことを振り返りながら、自分たちがどのように工夫したのか、どう改善を図ったのかの道のりを振り返る活動を行う。 ・探求の過程で「驚き」や「感動」など、児童の気持ちを想起できるように、活動の記録を写真に撮っておく。 ・1年間の活動を振り返り、どんな方からお世話になったか振り返られるように記録をとっておく。 ・総合を通して学んだことを4年生につなげるためにキャリアパスポートを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。[2:課題解決の方法を考えている] ●大豆の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。 [3:協働して学んでいる] ◎大豆料理の作り方や大豆の魅力を、伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、適切な方法で表現している。[4:学びを振り返り、次につなげている] <④キャリアプランニング能力> <②自己理解・自己管理能力>

材(大豆)のもつ価値

- ・大豆栽培や大豆料理を繰り返し作り、新たな課題を見付け、その課題に向き合いおいしさを追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。
- ・大豆を使った料理は身近な食べ物なので、手作りのものと市販のものを食べ比べることができる。
- ・自分の作った料理がよりよくなっていくこと、おいしいと言われることで達成感を得ることができる。

材(大豆)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ★大豆を育てたい、大豆料理を作り続けたいと願っている。
- ☆よりおいしい大豆料理を作りたいと願っている。
- ☆自分が育てた大豆や、繰り返し作ってきた大豆料理を、他の人にも知ってもらったり、食べてもらったりしてもらいたいと考えている。

★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い